

令和7年1月10日

報道機関各位

長岡出身で埼玉県在住の
デザイナー青柳謹一氏

長岡市地方創生推進部

広報・魅力発信課長



県外在住デザイナーに看板制作を“事業承継” 「松田ペット」看板の制作現場を特別公開！

長岡市は、持続的な地域の活性化に向けて、長岡ファンの獲得に取り組んでいます。全国にファンをもつ本市の名物看板「松田ペット看板」の制作は、これまで約50年間に渡り制作してきた小千谷市在住の近藤忠男さん（92歳）から、長岡市出身のデザイナー青柳謹一さんに事業承継しました。このたび、青柳さんの来岡に合わせて松田ペット看板制作の様子を特別公開します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、広く周知にご協力いただくとともに、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

松田ペット看板の制作現場を特別公開

- 日 時** 1月16日（木） 午後6時から7時まで
- 制作場所** （株）松田ペット倉庫（長岡市三島新保3187付近）
- 内 容** 青柳謹一さんが松田ペット看板の絵を描きます。
- プロフィール** あおやぎ きんいち
青柳 謹一（83歳）長岡市三島地域出身、現在は埼玉県在住デザイナーとして、さいたま市のロゴマークなど、現在まで20点余りのデザインを制作。
松田ペットの松田社長と同郷で古くからの友人でもあり、これまでも近藤さんと分担しながら看板制作をしてきました。
- その他** ・当日は長岡市への移住者でもあり、「松田ペット看板」を全国に広めるきっかけを作った新稲ずな※さんも制作を見学します。
・2年前にカプセルトイで販売された「松田ペット（例の看板）エコバッグ」が令和7年4月に異例の再々販売が決定しました。



制作イメージ（近藤さん）

※新稲（にいな）ずな（ペンネーム）

東京都目黒区出身、2015年夫の出身地である長岡市へ移住。長岡市の名物看板「松田ペット」にハマリ、全国の松田ペットの看板愛好家たちの集いである「松田学会」を主宰。2018年同人誌「例の看板 フォトグラフ・コレクション」を出版し、「松田ペット看板」を全国に広めるきっかけを作る。

（ 問い合わせ：広報・魅力発信課 佐藤 TEL0258-39-5151 ）